



ニューヨーク補習授業校だより

絆・きずな

令和2（2020）年
3月8日発行
第38号
文責（校長）片山 隆

夢のふくらむ学校

L I 校：幼児部節分行事

日本では、2月3日は節分を行う習わしがあります。邪気を払い、幸せを願うとともに、その後の立春とも併せて、春の訪れを告げる行事でもあります。

L I 校では、幼児部の子ども達が豆に見立てた紙つぶてを「鬼は～外！」の元気な声とともに鬼さんめがけて投げていました。

保護者会からは、袋入りの豆が幼児部から初等部2年まで配布されました。



L I 校：デコレーション巻き・恵方巻き

節分行事に併せて、初等部2年生と幼児部でデコレーション巻きと恵方巻きづくりのデモンストレーションがありました。

保護者でもあるデコ巻きインストラクターの杉本さんが、でんぶなどで着色したご飯や海苔、卵などを使って赤鬼青鬼や福の文字が入ったデコ巻きや恵方巻きを作りました。特に、デコ巻きは、作り始めは何か分からず、最後に海苔を巻いて切った断面を見て初めて赤鬼青鬼や文字になることが分かり、「お～！！」と大きな歓声が上がっていました。



W校：生徒会がスカイプで交流！！

昨年11月に行ったW校中高等部の「のみの市」の収益金は、千葉県市原市のボランティア団体「風呂の前里山保存会」様に送られました。同保存会では本校からの寄付に対し、是非生徒達に直接お礼を伝えたいと、市原市役所から連絡がありました。

2月1日午後6時から、補習校事務所において生徒会長阿部純子さん、若松みなみさん、荒木翔満君、山岸ダヴィコホールデン君の4名が代表としてスカイプで同保存会の皆様と交流しました。

同保存会は、里山の荒廃を憂えた有志のボランティアが、下草刈りから山の整備を始め、カタクリの花が咲く景勝の地に生まれ変わらせました。それが、昨年10月千葉県を襲った台風15号の影響で、せっかく整備した山の法面が崩れたり木が倒れたりして大きな損害が出ました。

保存会のメンバーの皆さんは、ご自分の孫の世代



に当たる生徒達を前に、口々に感謝の言葉を述べられました。中には、ニューヨークや英語の下調べをされた方もおられました。

生徒達も、補習校のことやニューヨークのことなどはじめ、のみの市の紹介を行いました。

日本に一時帰国した際は、是非風呂の前里山を訪れて交流を深めることを確認しました。



W校：幼児部節分行事

W校幼児部では、ボランティアのお父様方8名が鬼に扮して、豆まきが行われました。W校では、教師が調達してきた本物の大豆を、子ども達が自作の



升一杯に持って、鬼を撃退しました。おかげで小ジムの床は豆で一杯になりました。クラス委員の皆様には掃除がたいへんだったと思います。ありがとうございました。